

荒川ロックゲート体験と 避難行動力増強ワークショップ

震災直後には、帰宅が困難となったり、自宅が倒壊し住めないなど、自らの知恵と工夫で立ち向かう状況が様々考えられます。東日本大震災の被災状況からは、そうした自助への備えが、他人事ではないと意識された方も多いことと思います。日常生活だけでは自助への備えは難しく、実際に体験をすることで、自助に関する技能向上や、防災についての理解を深めていただけるものと考えています。そこで、今回はいざという時に役に立つロープワークの講習とロックゲート施設見学、また、国土交通省荒川下流河川事務所のあらかわ号に乗船し、ロックゲート通過体験及び水上見学会を下記のとおり実施します。

日 時：令和4年3月27日（日）11:30 集合

集合場所：荒川知水資料館アモア（裏面案内図参照）

場 所：荒川知水資料館アモア及びあらかわ号乗船、荒川ロックゲート

募 集：先着 20 名 ※先着順になります。

◇参加費 無料

解散場所：荒川ロックゲート管理棟 2 階会議室

申し込み方法：電話又はメールで、お名前・ご住所・お電話・年齢をお願いします。

申し込み先：080 - 4006 - 8819（平日 9：00～17：00） eizoutoshikeikaku@gmail.com

※集合場所と解散場所が異なります。ご注意ください。

3月27日（日）スケジュール

11:30	○荒川知水資料館アモア 集 合
11:30～12:20	○荒川知水資料館アモア 見 学
12:30～16:30	○あらかわ号による水上見学 ・水上から荒川船上見学 ・荒川ロックゲート通過体験 ・ロックゲート前門（荒川側） ○ロープワーク講習 ○ロックゲート施設見学 ・操作室 見学終了後解散



操作室見学



荒川ロックゲート体験



ロープワーク講習



船上見学（あらかわ号船）



ロープワーク講習



荒川ロックゲート前門より荒川を臨む

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会 一般社団法人関東地域づくり協会

後援 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所

荒川ロックゲートとは



荒川ロックゲートは荒川と旧中川とを結ぶ閘門（こうもん・ロックゲート）と呼ばれる施設です。ロックゲート（=閘門）とは、水面の高さが違う2つの川のあいだを船が通行出来るようにするための施設です。川と川のあいだに水門をつくって、水位を調節し、水面の高さを同じにして船を通します。荒川と旧中川は水面差が最大3.1メートルにもなるため、船の往来が不可能でしたが、ロックゲートの完成によって、荒川と旧中川、小名木川、そして隅田川が結ばれました（平成17年10月完成）。災害時に鉄道や道路が使えなくなったとき、川を通して救援物質や復旧資材の運搬、被災者の救出など災害復旧活動の支援が出来るようになるなど、地域の防災拠点として活躍します。（国土交通省 荒川下流河川事務所 荒川ロックゲートHPより）

☆集合場所の荒川知水資料館アモア

案内図

○JR 埼京線・京浜東北線・高崎線赤羽駅東口より

徒歩約15分

○JR 赤羽駅より都バス「豊島5丁目団地」行き「岩淵町」

または「志茂2丁目」下車徒歩10分

○地下鉄南北線赤羽岩淵駅または志茂駅より徒歩約15分

（東京都北区志茂5-41-1）



☆解散場所の荒川ロックゲート

案内図

○都営新宿線 東大島駅（小松川口）から徒歩15分

